

2018年度 推薦図書一覧(心理福祉学科)

2018年7月12日(水)現在

	推薦教員氏名	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	推薦コメント(任意)
1	相川 章子	心の病 回復への道	野中猛	岩波新書	2012	978-4-00-431373-1	4人に1人が心の病になる可能性があると言われていた現代社会の中で、全ての人に知っていただきたい精神保健福祉の基礎的知識。著者の事例をふんだんに盛り込んで読みやすい良書です。
2	相川 章子	太陽の子	灰谷健次郎	KADOKAWA	1998	978-4043520107	教育者であった著者の本は常に子ども目線の小説です。戦争、いじめ、心の病、様々な社会的課題が凝縮され子どもの目線で語られています。灰谷健次郎シリーズは全ておすすめです。
3	相川 章子	ソーシャルワーカー利用者へのまなざし	久保紘章	相川書房	2004	978-4750103143	ソーシャルワーカーを目指す人には是非読んでほしい。
4	相川 章子	弱者の居場所がない社会——貧困・格差と社会的包	阿部彩	講談社	2011	978-4062881357	人が生きていく上で大切なことは何か。「つながり」「居場所」「役割」であることがこれを読むとよくわかります。
5	相川 章子	「助けて」と言える国へ一人と社会をつなぐ	奥田知志、茂木健一郎	集英社	2013	978-4087207033	若者たちが夢を描けなくなったばかりではなく「困った」ことに気づくことができず「助けて」と言えない社会になっているのではないか。著者ふたりの対談という形なので読みやすく、これからの日本を共に考えたいと思う一冊。
6	相川 章子	置かれた場所で咲きなさい	渡辺和子	幻冬社	2012	978-4344021747	今ここにいて、生きているということに価値を感じ、喜ぶことができれば、見えている景色は変わるのではないかしら。
7	相川 章子	おおきな木	作・絵: シェル・シルヴァスタイン 訳: 村上春樹	あすなろ書房	2010	978-4751525401	本当の幸せとは? 問いかけられ、その答えは様々に読み取れます。読むごとに新たな気づきをえる絵本です。
8	相川 章子	風花病棟	帚木蓬生	新潮文庫	2011	978-4101288215	思わず没頭して読んでしまう帚木蓬生小説。これはヒューマニティ溢れる珍しい短編集。気軽に手にとって読めます。
9	相川 章子	永遠の仔<上><下>	天童荒太	幻冬社	1999	978-4877282851	児童養護施設で出会った3人の子どもたちが抱える闇の世界。改めて生きるってなんだろう、友達って何だろうと考えさせられる一冊。
10	相川 章子	れるられる	最相葉月	岩波書店	2015	978-4000287296	支える一を支えられるという境目。実は行ったり来たりしているがそこで私たち一人一人の心のうちに何が起きているのか。支援者を目指す人には読んでいただきたい一冊です。
11	五十嵐 成見	氷点(上)(下)・続氷点(上)(下)	三浦綾子	新潮文庫	1980		
12	五十嵐 成見	道ありき	三浦綾子	新潮文庫	1980		
13	五十嵐 成見	共に生きる生活	ボンヘッファー	新教出版	2014		
14	五十嵐 成見	死に至る病	キルケゴール	岩波文庫	1957		
15	五十嵐 成見	愛するということ	フロム	紀伊國屋書店	1991		
16	五十嵐 成見	汝の敵を愛せよ	M・L・キング	新教出版	1965		
17	五十嵐 成見	クオ・ワディス(上)(中)(下)	シェンケービッチ	岩波文庫	1995		
18	五十嵐 成見	沈黙	遠藤周作	新潮文庫	1981		
19	五十嵐 成見	ナゲキバト	パークダル	あすなろ書房	2006		
20	五十嵐 成見	あふれた愛	天童荒太	集英社文庫	2005		
21	猪瀬 桂二	人を動かす	D(デール)・カーネギー	創元社ほか			1936年にアメリカで発行されて以降、同著者の「道は開ける」とともに、全世界で翻訳され、重版に重版を重ね、最も読まれている自己啓発本です。同書は人間関係(人を動かす三原則、人に好かれる六原則、人を説得する十二原則など)を30のエピソードで示した分かりやすいビジネス書です。80年以上前のアメリカで書かれた本ですが、現代日本の若者たちにも十分共感できる普遍的な内容の本です。 その一端をとりあげると、 (強い欲求を起こさせる)「何かすばらしいアイデアが浮かんだ場合、そのアイデアを相手に思いつかせるようにしむけ、それを自由に料理させたらどうか。相手はそれを自分のものと思込み、二皿分を平らげるだろう。まず相手の心の中に強い欲求を起こさせること。これをやれる人は、万人の指示を得ることに成功し、やれない人は、一人の支持者を得ることに失敗する」
22	猪瀬 桂二	ナイン・ストーリーズ	J. D. サリンジャー	新潮文化ほか			サリンジャーといえは、代表作は『ライ麦畑でつかまえて』ですが、同書の不条理な世界が苦手な方には、ぜひこちらの本から。1950年代のアメリカで発行された題名のとおり9つの短編で構成された本です。特にお勧め、中ほどの『エズミに捧ぐ』です。戦争に心身を傷つけた兵士が、少女から貰った手紙に再び生きる力を貰うというストーリーです。様々な解釈が可能な(著者と翻訳者の)巧緻な文章は、読む側にその解釈力を衝きつけるかのように問いかけてきます。筆者は野崎孝の翻訳本を読んでいます、最近では村上春樹の翻訳プレーンとして知られる柴田元幸の本も出ています。読み比べも楽しいかと思えます。

23	猪瀬 桂二	『茨木のり子集 言の葉』1～3	茨木のり子	ちくま書房			著者は、(同人誌)『權』を創刊し、戦後詩を牽引した日本の代表的な女性詩人です。同書は、その詩とエッセイ、対談などが3冊にまとめられています。主な詩集に『私が一番きれいだったとき』、『自分の感受性くらい』などがあります。何れの詩も無用な枝葉を切り払い、練られた精度の高い「ことば」は詩人の感性や必然のみならず、当時の時代状況までも感じさせられます。例えば『私が一番きれいだったとき』では、著者は19歳の頃に日本は戦争に負け、女性として一番美しく輝く時期を敗戦という苦しい時代を経験しなければなりません。そんな女性の美しさと時代の苦しさを対比させて女性の決断、強さ、潔さが綴られています。また、『自分の感受性くらい』では、長年連れ添った夫を見送った後、年老いた自分自身を奮い立たせるかのような力強さと決意が感じられます。女性に限らず、若い男性にも、一読いただきたい感性溢れる詩集です。
24	猪瀬 桂二	事実の考え方	柳田邦男	講談社文庫			著者は、元NHK記者。筆者も30年ほどNHKに在籍しましたが、多くの先輩方から「最も優れたNHKマン」として、まず最初に名前が挙がる人物です。同氏が最も画面に駆り出されたのは1985年の日航機事故だと思えます。当時はニュースでの事故の一報後、墜落場所さえ特定できないほど情報が不足している中、機体の発見、数百名に及ぶ死者の拡大と、刻々と情報が新しくなる中、2年前の大韓航空機撃墜事故などの取材経験を有する著者がニュースの中で冷静に的確に状況の変化を解説していました。放送は、「流しっ放し」とも言われるほど、その後の検証が苦手な世界。著者は、NHKを退職後は様々な航空機事故のほか、ガンや尊厳死などの医療問題、エリート官僚の汚職、薬害エイズ、証券・金融腐敗、阪神大震災への雑拙な対応、また、旧日本軍の戦略の失敗に至るまで、現在につながる歴史的視点を加えた掘り下げた検証を続けるとともに、様々な提言を発信し続けています。同著は、一連の検証の原点ともいえる一冊です。歴史の中で現代を知る視点として一読を薦めます。著者は、カトリックのクリスチャン作家。曾野綾子の文章をよく「短剣を振り回す女剣士のように、ハツパハツパと切り込む」と比喩する人がいます。また「その姿勢の背景にあるキリスト教に共感する」と告白するする人たちが多くいます。実は、筆者もその中の一人です。主人公は、第二次大戦中、ナチスのアウシュビッツ収容所で、一人の男の身代わりとなつて飢餓室で処刑されたコルベ神父。戦後、「コルベの名で病人が回復した」ということで、ローマ・カトリック教会によって聖人に列せられました。同著は、著者が本当に奇蹟は起こったのかと、その真偽を探りに現地に飛び込むノンフィクション作品です。著者は、結果としては奇蹟と病気の回復との関係に懐疑的となり、また生き残った男とその家族も必ずしも幸せな結末ではなく、コルベ神父の死は無意味なものと感じさせられます。しかし、コルベ神父の死後、同神父が収容所で示した「愛(アガペー)」が多くの人に感化を与え、それが広がりを見せる中で、そうしたことこそが「奇蹟」であり、その原点に「キリストの復活」があると気付かされます。キリスト教の「愛」の本質を示唆する一冊と考えます。ぜひご一読ください。
25	猪瀬 桂二	奇跡	曾野綾子	角川文庫、文芸春秋、詳伝社ほか			著者はテレビドラマの脚本家、エッセイストにして、直木賞作家。1981年、台湾での航空機事故により、51歳の若さで突然の死を迎えます。著者の代表作は、1980年、第83年に直木賞を受賞した作品の載る『思い出トランプ』。今回お薦めするのは「無名仮名人名簿」です。著者が日常の中で出会う人々を、感性込めて53の(週間文春掲載の)超短編にスケッチ的にとりあげた作品です。著者は、世の中は「無名」の人たちが面白いとして、著者持前のほのぼのとしたユーモアで綴っています。元来の放送作家らしく、簡潔な文体に加え、登場人物に“感性を感じさせる台詞”を言わせて、人物像を生き活きと描き出しています。親しい人、ゆきずりの人のささやかな仕草に意外な一面を描き、鋭くも温かい観察眼とユーモアでドラマとして綴っています。若い人の感性を磨く一冊としてお薦めします。
26	猪瀬 桂二	無名仮名人名簿	向田邦子	文春文庫			著者は、言うまでもなく、現在、民放などのテレビ番組や各地での講演、また東工大など複数の大学での講義などで引っ張りだこの人物です。また、著者は「自身の本業は“本”業。テレビにも出ている」と云うほどあって、著作数は数えきれません。同著は、東工大などで教える著者が、若い人たちに教養(リベラルアーツ)への情熱を込めて、「自分を知ること」「宗教」「宇宙」「歴史」「経済学」「日本と日本人」...と現代人必須の7科目が一気に身につく一冊です。NHKの番組「週間こどもニュース」で培った分かりやすく伝える技能が、平易な言葉で書かれており、分量も少ないこともあり、スラスラと読み進めることができます。今後のニュース、教養番組を見るうえでためになる知識がコンパクトに詰め込まれています。なお、池上彰では「伝える技術」(PHPビジネス書、「新聞勉強術」(文春文庫)もお薦めです。ともにその膨大な情報源の収集と整理方法などのノウハウが学べます。併せてご一読ください。
27	猪瀬 桂二	おとなの教養	池上彰	NHK出版新書			著者の椎名隣三は、荒れた生活の後、共産主義に傾倒して投獄され、出所後に聖書に出会いキリスト者になりました。同著はその“信仰告白”ともいうべき随筆です。著者は「自分の生き方に行き詰って、一番嫌なものに近づくように聖書に近づいた」、「聖書を何回読んでみても、始末におえないほど不合理」、「この聖書物語はつまづきの記録としたい」などと言いつつ、マタイ伝「一日の苦勞はその日一日だけで十分である」、「その十分さを感じるというときには、復活のイエスが私の背後にある」と、満たされた救いを見事に文章化しています。著者なりのシニカルな表現が、逆に信仰への愚直なまでの姿勢として伝わります。これから信仰の世界に触れようとしている若い人々には、その複雑・難解な思考の展開は諸刃の剣かもしれません。ただ、すでに信仰をもったキリスト者(椎名隣三)も必ずしもストレートにそこに至ったのではなく、様々な葛藤の中で迷いもがきながら神を信じるようになったと、その信仰の過程を知ることでできる一冊と感じます。ご一読いただければと思います。
28	猪瀬 桂二	私の聖書物語	椎名隣三	中公文庫			著者のロバート・シューラーは、アメリカの教会の牧師。監訳の稲盛和夫は、一代で京セラ、KDDIを興し、またJAL(日本航空)の経営再建に大きく貢献した現代の経営の神様です。1990年代の日本で自己啓発本の爆発的なブームがありましたが、この本は、そうした日本人作家達の多くが参考にした本ともいわれています。著者がこの本に興味を持った理由は、「稲盛がわざわざ翻訳するからには、それだけの内容がある筈」と考えたからです。事実その通りでした。同著は、成功とは何であるかから始まり、成功者になるにはどのような考え方をすればよいか、また、逆境時に具体的にどう考えを切替えば良いかなどが列挙されています。一例を同書の「小さなステップでも踏み出した人の「一歩」の差は大きい」を紹介します。ある鉄道会社は10年以上にわたり、ナイアガラに橋梁を渡すために苦勞しています。またそのためには、川の向こう側にケーブルを渡す必要がありますが、その方法も見つかりません。そこである技術者は、子供たちに凧揚げ大会を開き、対岸に凧を辿り着かせた子に10ドルを払うことを思いつきます。そして一人の男の子がそれに成功します。初めは細い糸でしたが、少しずつ太い紐に替えていき、最後には巨大なロープになりました。同書にはそうした具体的な逸話が多数載っています。一歩踏みだそうとしている人には、自分の行動に勇気と自信を与えてくれる、プラス思考に気づくための良書といえます。
29	猪瀬 桂二	いかにして自分の夢を実現するか	ロバート・シューラー 稲盛和夫(監訳)	三笠書房			誰もが知っているユダヤ人の大量虐殺。この時、その処刑に関与した人間はどんな心理状態だったのか? 悪についての解釈はいろいろあると思いますが、悪とは無知や無関心、無思考のことを指すのではないかと考えさせられた一冊。難しい本かもしれませんが、時間をかけてゆっくり読んでほしい本です。
30	大橋 良枝	イスラエルのアイヒマン 悪の陳腐さについて	ハンナアーレント	みすず書房		978-4622020097	精神分析的に言うと、現代は心に闇を抱えた時代ではない、むしろ、心から闇を失っている病理の時代だ、と筆者は論を進めます。大学生にとって非常に身近な問題を精神分析理論を用いて描いています。
31	大橋 良枝	露出せよ、と現代文明は言う:「心の闇」の喪失と精神分析	立木康介	河出書房新社	2013	978-4309246376	能動の逆は受動なのだろうか? そのことを非常に身近な例を使って読者に問いかけてきます。私たちの行動を動かしているものは私たちなんだろうか? 誰なんだろうか? 中動態を知ると少し柔らかく生きられるようになるかもしれません。
32	大橋 良枝	中動態の世界: 意志と責任の考古学	國分巧一朗	医学書院	2017	978-4260031578	

33	大橋 良枝	落日燃ゆ	城山三郎	新潮文庫	1986	978-4101133188	東京裁判で絞首刑になった文官(元総理、外相)の広田弘毅を、精緻な歴史記述と丁寧な心情描写で描いている。広田弘毅の人物像に対しては様々な見解があるが、小説として人間の正義、倫理、誠実といったものについて問うという主題を見事に描いている。青年のうちに是非読んでほしい一冊。
34	大橋 良枝	翻訳できない世界のことば	エラ・フランシス・サンダース	創元社	2016	978-4422701042	バナナを食べるときの所要時間、という意味の言葉を持つ言語があると、知っていましたか？生きる環境が違くと、言葉がこんなに違うんだと驚きます。言葉は私たちが何を見て、何を大事にして生きているかを教えてください。私たちが大事にしていない知らない世界に誘ってくれる、そんな意味でも大人の絵本と言えるでしょう。
35	大橋 良枝	新装版 コインロッカー・ベイビーズ	村上龍	講談社	2009	978-4062764162	私が高校生のころ衝撃を受けて、大学生のころも繰り返し読んだ本です。コインロッカーに遺棄された2人の成長を描いたファンタジーですが、シビアな環境で生き延びる逞しさや、人間の力強さを思わされます。文体や描写が刺激的なので、そちらが注目されやすい村上龍作品ですが、その中でも青年の生きる力をもっとも描いているように思います。
36	大橋 良枝	文鳥・夢十夜	夏目漱石	新潮文庫	2002	978-4101010182	夏目漱石の短編集。夏目漱石らしいユーモアと皮肉と、少しの寂しさを感じられる作品が多数。私は夢十夜が好きで購入したのですが、結果、文鳥やほかの作品に心を打たれました。お気に入りの作品に出会えるかもしれません。
37	大橋 良枝	いじめのある世界に生きる君たちへーいじめられっ子だった精神科医の贈る言葉	中井久夫	中央公論新社	2016	978-4120049217	いわさきちひろの挿絵とともに、わかりやすく、しかし、精神分析における対人関係論の知見や臨床歴に裏付けられた、いじめの力学を描いています。中井久夫氏は私たち精神分析を学ぶ者にとっては、日本では神様のような存在ですが、いじめられた子供を横に置くような語り口調で綴っており、本当に世界からいじめで自分の命を絶つ者が無くなることを祈っているのを感じます。
38	大橋 良枝	おくりものはナンニモナイ	パトリックマクドネル	あすなろ書房	2005	978-4751522844	私の親友から、私の息子の3歳の誕生日にプレゼントしてもらった本。あなたが大事なんだよ、という気持ちがたくさん詰まった本。読み聞かせながら泣いてました(笑) 谷川俊太郎氏が翻訳しているところからも良書であることがうかがえるでしょう。
39	大橋 良枝	ふたりのイーダ	松谷みよ子	講談社青い鳥文庫 6-6	1980	978-4061470118	私が小学校中学年のころ、夏休みの読書感想文を書くときに使った本です。はじめてのファンタジー小説だったのかもしれませんが。原爆のテーマが背景にありますが、子ども時代の暑い夏の心象風景がありありと浮かんでくる、この年代の子どもの世界を描き切った作品だと思います。傑出した児童文学作家だからこそこの作品。子供の仕事に携わりたい人にはぜひ読んでほしいです。
40	大橋 良枝	夏の闇	開高健	新潮文庫	1983	978-4101128108	純文学っていうのはこういうものだな、と衝撃を受けた小説でした。一方で、ベトナム戦争で帰還した兵士の生活を描いているのですが、戦争神経症を被るというのは、こういうものだ、とも感じつつ、しかし、小説としての力を感じます。衝撃を受けました。
41	大橋 良枝	青女論	寺山修司	角川文庫	2005	978-4041315286	角川文庫で出たのが2005年で、私が読んだのは1981年版でしたが…。寺山修司は演劇に関心がある人なら天井桟敷でご存じでしょうが、私は太宰治が現代でこんなに人気があるなら寺山修司ももっと青年の心を打つてもよいのにな、と思っています。寺山が生きていた頃の常識を恐らく寺山は次々い覆したのだと思います。その感覚は私が高校生の頃にも衝撃として感じることができました。寺山作品は私も多く読んでいますが、一番初めに読んだ本がこちらだったので、関心を持った人に是非読んでもらいたいです。
42	大橋 良枝	夏子の冒険	三島由紀夫	角川文庫	2009	978-4041212110	三島由紀夫と言えば、金閣寺のような少し読むのに根気のいる作品がイメージされますが、昨今は、美しい星、や、命売ります、といった三島の楽な作品が注目され、映像化されています。私はそのような力の抜けた三島の作品で、まず、面白いと思ったのはこちらの本です。ちょっとだけ推理の要素が入って、さらっと読めて、何も残らない(笑) 何も残らないから残る作品を、ほかに重みのある作品を作れるだけにわざと書いてたんじゃないかと思うんですね。文学の先生にぜひ聞いてみたいです。そんな意味でも注目されるのは、夏子の冒険だと思います。それか、三島由紀夫のレター教室かな。
43	小沼 聖治	モモ	ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳	岩波少年文庫	2005	4-00-114127-2	誰にも平等に与えられている時間の豊かさや尊さ、「生きること」の本当の意味を考えさせてくれる名著です。
44	小沼 聖治	学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話 [文庫特別版]	坪田 信貴	角川文庫	2015	978-4-04-865095-3	「自分の夢や可能性を信じてみよう！」この本を読み終えたとき、そんな勇気を与えてくれる一冊です。
45	小沼 聖治	新参者	東野 圭吾	講談社文庫	2013	978-4-06-277628-8	テレビドラマ化もされている「加賀シリーズ」です。「事件を解決するだけではなく、事件で傷ついた人がいれば、その人を救うことも刑事の仕事である」という信念を貫く加賀恭一郎の姿勢は、対人援助職を目指すみなさんにとっても参考になります。ぜひシリーズ10冊を通して、魅力に迫ってみてください。
46	小沼 聖治	死ぬほど読書	丹羽 宇一郎	幻冬舎新書	2017	978-4-344-98462-2	心を自由に、生きる力を養うことができる読書の大切さを学ぶことができます。この本を読み終わった時、きつと自ら読書がしたいと感じられるのではないかと思います。
47	小沼 聖治	読んだら忘れない読書術	樺沢 紫苑	サンマーク出版	2015	978-4-7631-3450-9	自己の成長へつなげるために、記憶に残る読書術の基本を学ぶことができます。この本を読み終わった後、電車移動の時間が有効に使えるはずですよ！
48	小沼 聖治	理科系の作文技術	木下 是雄	中公新書	1981	978-4121006240	明瞭簡潔な文章を書くためのポイントが満載です。文系の方々にも刺激的な一冊です。
49	小沼 聖治	地頭力を鍛える	細谷 功	東洋経済新報社	2007	978-4492555989	「地頭力」=自分の頭で考える力を鍛えることで、仕事だけではなく、よりよい生き方を模索するヒントが得られるのではないかと思います。

50	小沼 聖治	リーダーは夢を語りなさい 新幹線清掃会社「TESSEIの奇跡」が起きるまで	矢部 輝夫	PHP研究所	2015	978-4569825311	何気なく通り過ぎていた新幹線の清掃の風景から、小さな奇跡を感じ取ることができるようになるかもしれません。
51	小沼 聖治	会社では教えてもらえない 手帳・メモの基本	伊庭 正康	すばる舎	2016	978-4-7991-0564-1	具体的な夢や目標を手帳に書くと、実現の可能性が格段にアップされると言われます。その理由は、本書で確かめてみてください。
52	小沼 聖治	ルフィの仲間力 『ONE PIECE』流、周りの人を味方に変える法	安田 雪	PHP文庫	2018	978-4-569-76841-0	国民的アニメ「ONE PIECE」を紐解くことで、仲間力について考えを深めることができ、人生を楽しむヒントを多く得られることでしょう。
53	小沼 聖治	社会福祉研究法 現実世界に迫る14レッスン	岩田正美ほか	有斐閣アルマ	2006	4-641-12301-2	社会福祉研究を始めようと思ったら、まずはこの本を手にとってほしいと思います。きっと研究の楽しさを実感できるのではないのでしょうか。
54	金谷 京子	発達と保育を支える巡回相談	金谷京子編著	金子書房	2018		
55	金谷 京子	臨床発達心理学の基礎	山崎晃・藤崎春代編著	ミネルヴァ書房	2017		
56	金谷 京子	臨床発達支援の専門性	西本絹子・藤崎真知代編著	ミネルヴァ書房	2018		
57	金谷 京子	認知発達とその支援	本郷一夫・田爪宏二編著	ミネルヴァ書房	2018		
58	金谷 京子	社会・情動発達とその支援	近藤清美・尾崎康子編著	ミネルヴァ書房	2017		
59	金谷 京子	言語発達とその支援	秦野悦子・高橋登編著	ミネルヴァ書房	2017		
60	古谷野 亘	おバカさん	遠藤周作	P+D BOOKS			
61	古谷野 亘	ふたりぼっち	助川征雄	万葉舎	2015		
62	古谷野 亘	10人の聖なる人びと	島村菜津, 他	学習研究社	2000		
63	古谷野 亘	キリストを運んだ男	井上洋治	日本基督教団出版局	1998		
64	古谷野 亘	イエスに魅せられた男	井上洋治	日本基督教団出版局	1996		
65	古谷野 亘	刺青クリスチャン	ミッション・バラバ	早稲田出版	1998		
66	古谷野 亘	「強さ」の時代に抗して	荒井献	岩波書店	2005		
67	田村 綾子	カシオペアの丘で	重松清	講談社	2007	978-4062140027	小学校の同級生4人が40代で再会し、このうちの一人がガンで亡くなるまでを描いた小説です。人の心の内面や人間関係のひだを見事に書き表す著者のファンも多いと思います。本書は北海道の炭鉱の町が舞台で、過去の事件や事故によってさまざまな確執を抱えた彼らが、互いに自分や他者を思いやり、許し合う姿には感動を覚えます。
68	田村 綾子	遺体	石井光太	新潮社	2014	978-4101325347	釜石市が舞台で、震災直後の現地の様子を克明に描いたドキュメンタリー作品です。著者は他にも貧困や孤児、売春などの社会問題を扱って世界取材しているので他の著書も読んでいただきたいですが、聖学院大学が復興支援を継続している釜石市の「痛み」を知ることで、支援に赴く気持ちにも変化が現れるかもしれないと思って選びました。
69	田村 綾子	わたしが・棄てた・女	遠藤周作	講談社	1972	978-4061311411	クリスチャンでもあり有名な著者の1冊です。大学生が遊び相手にして棄てた田舎娘の生きざまが描かれています。学歴も低く貧しいこの娘の人生の選択、自分が同じ立場だったらどうするだろうかと考えさせられ、胸に訴えてくるものがあります。ハンセン病に関する当時の世間のまなざしも伝えてくれていて差別や偏見についても考えさせられます。
70	田村 綾子	泥流地帯	三浦綾子	新潮社(文庫・改版)	1982	978-4101162065	現在の日本も相次ぐ自然災害に痛めつけられています。本書は大正時代の十勝岳の噴火を扱った小説です。貧しいながらも実直に生きてきた一家をも泥流が無惨に襲い、自然とともに生きることの厳しさを痛感させられます。生き残った人々が再び立ちあがる姿にも心打たれる1冊です。クリスチャンの有名な著者で、数多いお薦めの中から選んだ一冊です。

71	田村 綾子	大地の子	山崎豊子	文芸春秋	1994	978-4167556013	中国残留孤児の兄と妹が、大陸で別々に過酷な環境の中を生きる姿を描いた長編歴史小説です。兄の方は苦労もしますが、後半は養親に恵まれて成長します。妹は悲惨な最期を遂げています。兄は、仕事を通して実父との再会を果たしますが、そこにも歴史の重みが横たわっています。著者が緻密な取材を重ねて小説化する作品は、本書以外にも読み応えのあるものが多いです。
72	田村 綾子	アルプスの山の娘(ハイジ)	ヨハンナ・スピリ (野上弥生子訳)	岩波書店	1991	978-4003276112	ドイツ人作家の著書、同じく作家でもある訳者による旧字・旧仮名使いの文章が美しい一冊です。「アルプスの少女ハイジ」のアニメを見たことのある人は多いと思いますが、純真な少女ハイジがキリスト教信仰に導かれ、その影響で頑なな態度を振り続けてきたおじいさんも心を開いていくという和解の物語です。
73	田村 綾子	太郎物語(高校編・大学編)	曾野綾子	新潮社(文庫・改版)	1985/ 1987	978-4101146102 978-4101146119	主人公「太郎くん」の高校から大学生活が、時代背景は少し古いですが、そのことを感じさせずにテンポよく描かれています。進路選択や恋愛、親離れや自立など、みなさんもご自身の道すじと重ね合わせながら読んでみると面白いと思います。学問の意味とか、読書の楽しみにも触れられるかもしれません。
74	田村 綾子	苦海浄土(新装版)	石牟礼道子	講談社	2004	978-4062748155	大きな社会問題となった公害病の一つ、水俣病を扱った作品です。著者は数多くの被害者の姿を取材して回りながら、この小説を書いたと伝えられています。何も知らずに毒された魚を食べて病んだ人々の無念や、その患者たちに対する世間の目、大企業の圧倒的な権力の前に無力で善良な市民の哀しみなどが細やかな情景描写とともに綴られています。
75	田村 綾子	隠蔽捜査	今野敏	新潮社	2008	978-4101321530	エリート警察官が主人公のシリーズもので、数年前にテレビドラマ化されました。堅物で回りの空気を読むことなく正論を深く言っただけ、その行動も一貫している主人公が、なあなあになりがちな世界の嘘を暴きだしていくストーリーに、読んでいて爽快感を覚えます。
76	田村 綾子	彗星物語	宮本輝	文芸春秋	1998	978-4167348137	この物語は、某携帯電話会社のコマーシャルのモチーフになっているのではないかと、私はひそかにそう思っています。あの白い犬「おとうさん」みたいな存在の「フック」という名の一匹の犬を取り巻く一家が舞台。ここで繰り広げられる人間模様は、ほのぼのとして、少ししみりする作品です。人の心の機微を丁寧に描くことの多い著者で、お薦めしたい小説はたくさんありますが、その中から1冊選びました。
77	中谷 茂一	永山則夫 封印された鑑定記録	堀川 恵子	岩波書店	2013	978-4000241694	
78	中谷 茂一	誰もボクを見ていない:なぜ17歳の少年は、祖父母を殺害したのか	山寺 香	ポプラ社	2017	978-4591154601	
79	中谷 茂一	子どもを信じること	田中 茂樹	大隅書店	2011	978-4905328018	
80	中谷 茂一	正木ひろし—事件・信念・自伝(人間の記録(119))	正木ひろし	日本図書センター	1999	978-4820557791	
81	中谷 茂一	ルポ 児童相談所:一時保護所から考える子ども支援(ちくま新書1233)	慎 泰俊	筑摩書房	2017	978-4480069399	
82	中谷 茂一	橋の上の「殺意」〈畠山鈴香はどう裁かれたか〉	鎌田 慧	講談社	2013	978-4062776141	
83	中谷 茂一	徹底検証 日本の右傾化(筑摩選書)	塚田 穂高	筑摩書房	2017	978-4480016492	
84	中谷 茂一	ヤクザになる理由(新潮新書)	廣末 登	新潮社	2016	978-4106106781	
85	中谷 茂一	不幸にする親—人生を奪われる子ども	D. ニューハース	講談社	2008	978-4062144483	
86	中谷 茂一	毒になる親	スーザン フォワード	毎日新聞社	1999	978-4620313153	
87	長谷部 雅美	大家さんと僕	矢部太郎	新潮社	2017	978-4103512110	
88	長谷部 雅美	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子	小学館	2016	978-4093965378	
89	長谷部 雅美	博士の愛した数式	小川洋子	新潮社	2005	978-4101215235	
90	長谷部 雅美	カンオペアの丘で(上・下)	重松清	講談社	2010	978-4062766302(上)	
91	長谷部 雅美	ダイヤモンドダスト	南木佳士	文芸春秋	1992	978-4167545017	
92	長谷部 雅美	対人援助と心のケアに活かす心理学	鈴木伸一	有斐閣	2017	978-4641150409	
93	長谷部 雅美	認知症の人の歴史を学びませんか	宮崎和加子 田邊順一	中央法規出版	2011	978-4805834343	
94	長谷部 雅美	【増補新装版】優生保護法が犯した罪:子どもをもつことを奪われた人々の証言	優生手術に対する謝罪を求める会	現代書館	2018	978-4768458273	
95	長谷部 雅美	マジ文章書けないんだけど ~朝日新聞ベテラン校閲記者が教える一生モノの文章術~	前田安正	大和書房	2017	978-4479795865	
96	長谷部 雅美	実証研究の手引き:調査と実験の進め方・まとめ方	古谷野亘 長田久雄	ワールドプランニング	1992	978-4948742048	
97	堀 恭子	西の魔女が死んだ	梨木香歩	新潮社	2001	978-4101253329	自然がいつばいの庭、自分で何でも作る生活、主題は決して軽くないのですが、読後はこの庭を渡ってきたそよ風のような気持ちになります。
98	堀 恭子	家守綺譚	梨木香歩	新潮社	2004	978-4104299034	不思議な内容ですが言葉のひとつ一つが美しく、読み終えて優しい気持ちになります。
99	堀 恭子	春になったら苺を摘みに	梨木香歩	新潮社	2006	978-4101253367	若いころに触れた異国の生活、そこで出会った人のことが描かれていて追体験をしているかのような気持ちになる。
100	堀 恭子	ぐるりのこと	梨木香歩	新潮社	2007	978-4101253381	エッセイ集ですが、ずいぶんと考えさせられる。作者のことがますます好きになります。
101	堀 恭子	海辺のカフカ上下	村上春樹	新潮社	2005	978-4101001548・55	家族がこぞって読んでいた村上春樹を遅ればせながら後追いしました。面白いが独特な世界観だなあと感じました。

102	堀 恭子	国境の南太陽の西	村上春樹	講談社	1995	978-4062630863	これまで生きてきた中で感じたいろいろな感情が喚起される作品です。
103	堀 恭子	ノルウェイの森上下	村上春樹	講談社	2004	978-4062748681・98	ゆったりとした気分のあるときに読みたい。読むと映画を見終わったような気持ちになるのかな。
104	堀 恭子	ミーナの行進	小川洋子	中央公論新社	2009	978-4122051584	夢を見ているような錯覚にとられる物語です
105	堀 恭子	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	マガジンハウス	2018	978-4838730070	少し前に話題になった本。古いようで決して古くないと感じます。
106	堀 恭子	武士道(現代口語訳)	新渡戸稲造	PHP研究所	2005	978-4569664279	私たち日本人の倫理観の源は何か？を知る1冊だと思います。
107	堀 恭子	姿勢の不思議	成瀬悟策	講談社	1998	978-4062572231	こころと体の結びつきがよくわかる。心理療法としての動作法訓練は、自分の体を通して自分自身と向き合う時間を持つことができるようになります。
108	堀 恭子	老人性うつ～気づかれない心の病	和田秀樹	PHP研究所	2012	978-456980283	高齢者の精神的不調を「認知症」と片付けてしまわないことの重要性に気づかされます。
109	村上 純子	人にはどれだけの土地があるのか	トルストイ	いのちのことば社 フォレストブックス		4-264-02437-4	人間が生きるのに必要なものが何かを考えさせてくれます。
110	村上 純子	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房		4-572-00215-0	コドモとオトナの真ん中にいる大学生の皆さんに読んでもらいたい本です。
111	村上 純子	わすれられないおくりもの	スーザン・パーレイ	評論社		4-566-00264-7	大切な人を失った時に、しばらくしてから手に取ってほしい本です。
112	村上 純子	あらしのよるに	木村祐一	講談社		4-06-936223-1	ワクワクドキドキする、オオカミとヤギの禁断の友情物語です。ぜひ7冊とも読んでみてください。特別編『しろいやみのはてで』もあります。
113	村上 純子	あるはれたひに	木村祐一	講談社		(7冊セット)	
114	村上 純子	くものきれまに	木村祐一	講談社			
115	村上 純子	きりのなかで	木村祐一	講談社			
116	村上 純子	どしゃぶりのひに	木村祐一	講談社			
117	村上 純子	ふぶきのあした	木村祐一	講談社			
118	村上 純子	まんげつよるに	木村祐一	講談社			